

平成13年10月25日

## 各位

本店所在地 東京都港区六本木4-8-7六本木三河台ビル  
(登記上は東京都千代田区丸の内3-2-3)

会社名 **グッドウィル・グループ株式会社**  
(コード番号: 4723 店頭上場銘柄)

代表者 代表取締役会長 折口雅博  
問合わせ先 取締役管理本部長 金崎 明  
電話番号 03-3405-9228

## 四半期の当企業グループの事業進捗状況について

当企業グループの第8期第1四半期(平成13年7月1日から平成13年9月30日まで)の事業の進捗状況についてお知らせ申し上げます。

### 1. はじめに

当四半期におけるわが国経済は、軟調な経済環境に加え、平成13年9月に米国で起きた同時多発テロの影響を受け、景気の減速感や株式市場の低迷等をより強め、企業収益を圧迫している状態にあります。

このような影響もあり、企業のリストラ、倒産件数の増加等により、完全失業率が高水準で推移するなど個人消費、雇用情勢は引き続き厳しい状況にあり、わが国経済は、非常に厳しい局面を迎えていると言わざるを得ない状況にあります。

当社は、企業理念に『拡大発展』『社会貢献』『自己実現』を掲げる設立7年目のベンチャー企業であり、本業の軽作業請負事業を行う一方でグループ9社を統括する持株会社でもあります。当企業グループは、人材に関するあらゆる支援ビジネス(総合人材サービス)を行っており、『アウトソーシング』『人材紹介・派遣』『医療・介護』分野で多角的に事業展開を図っております。

### 2. 当企業グループにおける事業の進捗状況

#### (1) 当企業グループ事業のセグメント別販売状況

##### (請負事業部門)

当社子会社(株)ラインナップは当社と同業の軽作業の請負事業を行っている業界3位に位置する優良企業であります。同業界ながら当社との間では殆どの取引先に重複がなく、当社のシェアが少ない内装・イベント分野のシェアが高いため、規模の拡大・業界内のシェアアップ等のメリットを享受しつつあります。また当社の豊富なデータベースに基づく動員力・対応力に(株)ラインナップの専門性を加えることによって、より多くのシナジー効果を確立しつつあります。

またコンピューターシステムの統合やスタッフの相互活用などにより、業務の合理化も可能になりつつあります。

当四半期におきましては、前期に行った新規出店や当社の実績が少なかったイベントや販売支援分野を中心に実績を残しており、当企業グループに初めて貢献しております。

##### (人材派遣・斡旋事業)

当社子会社(株)グッドウィル・キャリアは、人材紹介・派遣事業・斡旋事業・広告媒体事業を行っており、経済情勢の悪化、リストラクチュアリング、リエンジニアリングに伴う終身雇用の崩壊、人材の流動化を背景にホワイトカラー対象の総合ソリューションサービスの提供を目指しております。またカウンセリング重

視による他社との差別化を図り、人事・人材に関する様々な問題に対応できるような展開を行っております。更に平成13年7月に合併した㈱グッドウィル・フォーサイトをフォーサイト事業部として社員サポートプログラム(EAP)事業を中心に展開しており、わが国でも例を見ないワンストップショッピングが可能な事業体とすることができました。

当四半期におきましては、人材紹介・派遣の市場全体が拡大したのに対応し、㈱グッドウィル・キャリアにおいて、順調に派遣社員数、人材紹介者数が増加いたしました。人材斡旋事業はサービス業全体では上位2位に該当する急成長途上の市場であり、人材派遣事業も今後有望な市場と目されております。

またEAP事業も好調な受注に加え合併による間接部門等の合理化により利益面でも貢献しつつあります。当企業グループも、この市場の拡大を上回る成長を目指して人材の獲得・事業基盤の整備を進めております。

### (投融資事業)

当社子会社㈱GWキャピタルは、ベンチャー企業向け投融資事業を行っており、急成長する企業に対し金銭的な支援を行い、グループ内で経営を含めた人材支援をあわせて行う一方で、一般向け貸付事業も行っております。中長期的にはグループ内の各セグメントと連携し、総合人材サービスに付随する金融事業を展開することで同社の独自性を図る方針であります。

当四半期におきましては、既存の貸付債権を回収し、その資金を借入返済にあて、資金の有効運用を図りました。

### (医療・介護事業)

当社子会社㈱コムスは、24時間在宅介護サービス事業のパイオニアであり、21世紀における高齢化社会及び少子化社会において、今後の当企業グループの「総合人材サービス」事業の柱として成長が見込まれております。また、同子会社㈱デンタル・コムスにて訪問歯科診療サポートサービスを提供しております。

また、㈱コムスは、当社所有の東京都杉並区の土地に「エルダーマンション」の第1号「コムス・コート永福」を建設いたしました。エルダーマンションは、これからの高齢化社会に適応するために、洗練された「高齢者向高品質な賃貸住宅」です。バリアフリー設備に加え、コムスの在宅介護サービスの蓄積されたノウハウが、設計全体に反映されています。

当四半期におきましては、㈱コムスは平成13年4月に単月経常黒字を達成し、まさにビジネスモデルを確立し、以降順調に単月経常黒字を計上しており、お客様へのサービスの質の向上とお客様満足度最大化をはかるとともに顧客増・売上増を達成することができました。

## (2) 第1四半期の連結売上高の状況

(単位：千円、単位未満切り捨て)

品目別		期別	14年6月期第1四半期 自平成13年7月1日 至平成13年9月30日	13年6月期第1四半期 自平成12年7月1日 至平成12年9月30日	増減率
セグメント	請負事業		7,124,257	5,194,128	37.1%
	人材派遣・斡旋事業		381,031	171,093	122.7%
	投融資事業		67,123	145,967	54.0%
	医療・介護事業		3,359,392	3,000,956	11.9%
	美容・健康事業			3,376,282	
	その他		89,800	230,564	61.0%
合計			11,021,605	12,118,992	9.0%

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 当企業集団が行う業種別は人員数、期間等が一樣ではないため、数量表示は困難でありますので記載しておりません。

3. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。また上記の金額はセグメント間の内部売上高または振替高消去後の金額であります。

4. セグメント別区分について

請負事業……軽作業(当社及び当社子会社(株)ラインナップ、(株)ソアプロモーション)

人材派遣・斡旋事業……人材派遣、斡旋(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア) ドライバー派遣(当社子会社株式会社グッドウィル・エクスプレス)

投融資事業……ベンチャー企業等に対する投融資(当社子会社株式会社GWキャピタル、株式会社GWクレジット)

医療・介護事業……在宅介護、訪問看護(当社子会社株式会社コムスン及び同子会社株式会社デンタル・コムスン、株式会社メディカ)

その他の事業……広告代理(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア) 人材支援(当社子会社株式会社グッドウィル・キャリア)

なお、平成13年6月期第1四半期に区分掲載されている美容・健康事業については、平成14年6月期第1四半期から該当社が連結対象会社ではなくなったため記載しておりません。

5. 売上高の数値は、未監査であります。

(3) 第1四半期の連結損益計算書

(単位：千円、単位未満切捨)

科目	14年6月期 第1四半期 (自平成13年7月1日 至平成13年9月30日) (A)		13年6月期 第1四半期 (自平成12年7月1日 至平成12年9月30日) (B)		前年同期比増減	
	金額	百分比	金額	百分比	金額(A) - (B)	増減率
		%		%		%
売上高	11,021,605	100.0	12,118,992	100.0	1,097,387	9.0
売上原価	7,261,260	65.8	9,237,803	76.3	1,976,543	21.3
[売上総利益]	3,760,344	34.2	2,881,189	23.7	879,155	30.5
販売費及び一般管理費	3,041,173	27.6	5,612,963	46.3	2,571,790	45.8
(内 連結調整勘定償却)	(21,142)	(0.2)	(43,578)	(0.3)	(22,436)	(51.4)
[営業利益]	719,170	6.6	2,731,774	22.5	3,450,944	
営業外収益						
受取利息	1,216	0.0	10,582	0.0	9,366	88.5
受取配当金	48,422	0.4	668	0.0	47,754	7,148.8
有価証券売却益			2,500	0.0	2,500	
その他	28,537	0.2	72,908	0.6	44,371	60.8
営業外費用						
支払利息及び割引料	33,660	0.3	17,646	0.1	16,014	90.7
その他	12,512	0.1	4,200	0.0	8,312	197.9
[経常利益]	751,175	6.8	2,666,960	22.0	3,418,135	

(注) 1. 特別損益以下の項目は、記載を省略しております。

2. 前年同期比増減の欄の増減は下記の計算式によって算出しております。

$$\text{増減率} = \frac{(\text{A}) \text{ 当年第1四半期の実態} - (\text{B}) \text{ 前年第1四半期の実態}}{(\text{B}) \text{ 前年第1四半期の実態}} \times 100$$

3. 上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

### 3. 第1四半期の連単倍率

(単位：千円、単位未満切捨)

科目	14年6月期 第1四半期 (自平成13年7月1日) (至平成13年9月30日) 連結		14年6月期 第1四半期 (自平成13年7月1日) (至平成13年9月30日) 個別		連単倍率
	金額	百分比	金額	百分比	
		%		%	
売上高	11,021,605	100.0	5,397,124	100.0	2.04
売上原価	7,261,260	65.9	3,460,918	64.2	2.09
[売上総利益]	3,760,344	34.1	1,936,206	35.8	1.94
販売費及び一般管理費	3,041,173	27.5	1,529,148	28.3	1.98
(内 連結調整勘定償却)	(21,142)	(0.1)	( )	( )	( )
[営業利益]	719,170	6.5	407,058	7.5	1.76
営業外収益					
受取利息	1,216	0.0	10,259	0.1	0.11
受取配当金	48,422	0.4	68,306	1.2	0.70
有価証券売却益					
その他	28,537	0.2	1,586	0.0	17.99
営業外費用					
支払利息及び割引料	33,660	0.3	18,312	0.3	1.83
その他	12,512	0.1	9,862	0.1	1.26
[経常利益]	751,175	6.8	459,036	8.5	1.63

- (注) 1. 特別損益以下の項目は、記載を省略しております。  
 2. 上記の数値は、当四半期における業績の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

#### 4. 事業の概況に関する特別記載事項について

以下において、当社グループの事業展開上のリスク要因となる可能性があると考えられる主な事項を記載しております。なお、当社は、これらのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避、発生した場合の対応に努める方針ではありますが、今後の状況が、当社の計画通り推移しない可能性があります。

##### (1) 新規事業への進出について

当社は「弛まぬベンチャースピリット」を社是としており、新規事業への進出には積極的に対応しております。このため、当社及び当社グループの各企業における事業環境は、短期間に変動する可能性があります。また、新規事業への進出に当たっては、十分に事業性、将来性、リスク要素等を検討しておりますが、その目論見が正しいかどうかの保証はなく、想定していない損失を被る可能性があります。ただし、当社は人材ビジネスと介護ビジネスの2つのコア・ビジネスに企業経営を集中し、平成15年6月期までは他の事業に進出する意向はありません。

##### (2) 社歴が浅いことについて

当社及び当社グループは業歴が短いため、期間業績比較を行うための十分な財務数値が得られないうえ、当社及び当社グループの過年度の経営成績だけでは、今後当社及び当社グループが継続的に売上を増加させ、安定的に利益を確保できるかどうかの判断材料としては不十分な面があると考えられます。

##### (3) グループ戦略について

当社は軽作業請負事業を通じて、各企業の持つアウトソーシング需要、人材の確保に関わるニーズの高さを実感したことから、『総合人材サービス』を標榜し、人材、アウトソーシング関連の事業を広く展開する方針を持ち、製造・販売・物流関連作業や事務作業、人材紹介・派遣、在宅介護サービス、有料職業紹介事業等を事業化しております。これらはそれぞれ業態が異なり、一部に法的な規制もあることから、分社化することが適当であると考え、子会社の設立、買収、資本参加等によるグループ展開を推進してまいりました。

一方で、当社の有する人材に限られていること、グループ企業が小体であることから、当社の取締役が各グループ企業の取締役を分担して、兼務している状況であります。今後、各企業の業容の拡大とともに、適当な人材を採用・登用する方針ではありますが、当面、各取締役の負担が重くなっており、迅速な業務執行、十分な管理が阻害される可能性があります。

##### (4) 労働関連の法的規制について

現在、「職業安定法」、「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律（以下、「派遣業法」と略す。）」等の労働関連法規を見直す動きがあるとの報道があるなど、当社グループが主に従事する人材、アウトソーシングに関する業界環境は、規制緩和の方向に変化しつつあります。当社グループにおいても、こうした規制緩和は市場拡大につながるものと捉え、積極的に対応する方針ではありますが、一方で新規参入の増加、派遣市場と請負市場の融合などによって、競争激化も予想されます。

また、労働者・求職者の保護に関しては、法令化、罰則の強化等の検討もなされることが予想されるため、当社グループにおいても、十分に配慮する必要が生じ、コスト増につながる可能性もあります。

#### (5) 過去の連結業績について

当社の平成10年6月期（連結初年度）においては、子会社4社すべてが操業間もない先行投資の段階にある企業であり、うち3社が経常赤字であったことから、連結業績は営業利益、経常利益段階で単体を下回っております。また、連結調整勘定当期償却額の計上、持分法適用関連会社である株式会社コムスの先行投資にともなう同社の投資損失の計上に加わり、当期純損益では、98百万円の損失計上となりました。

平成11年6月期においては、グループ各社の事業が新規顧客の獲得などから軌道に乗りはじめ、子会社5社すべてで経常黒字に転換し、連結業績は営業利益、経常利益段階とも単体を上回っております。セグメントでは、とりわけ当社及び㈱グッドウィル・コミュニケーションの請負作業が大きく伸長し、1,121百万円の経常利益を計上いたしました。

平成12年6月期においては、当社及び㈱グッドウィル・コミュニケーションの請負作業が引き続き伸長し、かつ新たに資本参加した㈱クリーク及びその子会社の美容・健康事業が連結業績に貢献し、両セグメントあわせて、2,707百万円の経常利益を計上いたしました。一方、平成12年4月1日の介護保険制度施行に向けて㈱コムスでは約1,200箇所の拠点開設投資を行いました。同年6月に大規模な拠点統廃合を行いました。連結上、同社の第三者割当増資に伴う持分変動利益6,621百万円（特別利益）が計上され、また同年3月までの介護保険対応準備費用6,101百万円（特別損失）及び同年4月から6月までに多額の費用及び損失が発生した結果、会計上決算期の相違から発生する損益の不一致を調整すること等により、経常損益では6,823百万円、当期純損益では9,746百万円の損失計上となりました。

平成13年6月期においては、当社の請負作業が引き続き伸長した反面、㈱グッドウィル・コミュニケーションの管理作業請負は大口顧客からの大幅な受注減となり、㈱クリーク及びその子会社の美容・健康事業とあわせて両セグメントの経常利益は1,956百万円となりました。一方、㈱コムスでは全国731ヶ所の拠点でスタートしましたが、経営方針を売上よりも事業採算中心に変革し、組織・拠点の改革・統廃合を更に行いました。連結上、同社の拠点・組織統廃合関連損失等の特別損失2,516百万円を計上したことと同期間の経常損失が発生した結果、経常損益では3,128百万円、当期純損益では7,409百万円の損失計上となりました。なお、平成13年7月に㈱グッドウィル・コミュニケーションの全株式を譲渡したため第8期より連結子会社ではなくなっており、同じく平成13年7月に㈱クリークの所有株式の一部を譲渡したため、第8期より連結子会社及び持分法適用会社ではなくなっております。

#### (6) 株式会社コムスについて

##### a) 株式会社コムスの事業概要について

当社は㈱コムスに平成9年3月の新株引受によって経営に参画しております。現在、主として平成11年7月及び平成12年3月並びに平成13年6月に第三者割当増資を行ったことから、持株比率75.08%（間接保有を含む）の筆頭株主であり、当社代表取締役会長折口雅博が㈱コムスの代表取締役会長を、当社常務取締役山崎明敏が同社専務取締役を、また当社取締役金崎明が同社常務取締役をそれぞれ兼務しております。

㈱コムスは、平成12年4月より施行された「介護保険法」に基づく公的介護サービスである訪問介護、訪問入浴介護、通所介護、居宅介護支援等の介護サービス事業への参入を目的としており、現在、在宅介護サービスを中心とした事業を行っております。

##### b) ㈱コムスの過去の経営成績について

㈱コムスの過去の経営成績の推移は以下のとおりであります。平成12年3月以前の各時点において、厚生省の定めるヘルパー補助単価が低く設定されており、当時の単価では、ホームヘルパー事業そのものの採算が取れる状況ではないことが要因で損失を計上しておりますが、これは介護保険導入後に、在宅介護サービスにおいて指導的な介護提供会社になることを目指し、知名度、認知度の向上を優先課題としてきたためであります。

平成10年6月期においては、㈱コムスは当社の連結上、持分法適用会社でありました。当社は㈱コムスに対して、直接投資40,500千円他、資金の貸付294,170千円、社債135,000千円の債権を有しておりましたが、介護保険導入後において、㈱コムスの業績が改善すると見込んでいることから、株式に対する評価減及び債権に対する貸倒引当金の個別引当は行っておりません。ただし、連結決算における投資の評価については、債務超過額に相当する当社持分額についても損失を負担するため、株式の評価及びコムス社債の評価を減額しております。

しかし、平成 11 年 6 月期においては、当社への資金の貸付の返済及び社債の償還が行われたことから、連結決算において、過年度に評価減を行った金額の一部を持分法投資利益に計上しております。

なお、平成 12 年 3 月期より当社の連結対象会社となり、以降は損益が全額連結されることとなっております。

(株)コムスの最近の経営成績の推移は以下のとおりであります。

(単位：千円)

回次 決算年月	第 10 期 平成 10 年 3 月	第 11 期 平成 11 年 3 月	第 12 期 平成 12 年 3 月	第 13 期 平成 12 年 6 月	第 14 期 平成 13 年 6 月
売上高 (千円)	638,513	702,265	694,863	1,499,444	12,098,186
経常利益 (千円)	240,638	277,496	403,968	8,530,508	5,581,596
当期利益 (千円)	235,936	281,965	6,937,697	10,928,125	8,324,801
純資産額 (千円)	222,034	503,999	2,365,002	8,523,037	73,660
総資産額 (千円)	332,065	387,871	9,254,685	5,149,819	5,395,048

(注1) 上記表の決算数字については、商法決算であります。

(注2) 第 13 期は決算期を当社と一致させるため変更し、3 ヶ月の変則決算となっております。

c) (株)コムスの当期連結業績に与えた影響について

(株)コムスは、介護保険導入当初より在宅介護サービスに対するニーズが大幅に高まることが予想されることから、事業を確立・拡大し、業界をリードするための投資として位置づけ積極的な事業展開・拠点開発を行ってまいりました。

平成 12 年 6 月に組織改革を行い全国 731 ヶ所の拠点で当期をスタートいたしました。

在宅介護サービスに対するニーズはかなり高く、質の高いサービスをより多く提供するため積極的な事業展開を行っておりますが、一部において必ずしも需要が事業採算に見合うスピードで顕在化しない地域がでてきております。そのため、平成 13 年 6 月期において経営方針を売上よりも事業採算中心に変革し、組織・拠点の改革・統廃合をさらに行いました。拠点の統廃合及び拠点毎の収益改善努力並びに営業の強化などの結果、経常損失の実績は大幅に改善され平成 13 年 4 月には単月経常利益を計上することができました。

当四半期においては、確立したビジネスモデルの更なる強化により、前期の第 4 四半期で経常黒字を達成したのに続き約倍増した経常利益を達成することができました。

(単位：千円)

	売上高	経常利益
前期第 4 四半期 (平成 13 年 4 / 1 ~ 平成 13 年 6 / 30)	3,118,813	100,068
当期第 1 四半期 (平成 13 年 7 / 1 ~ 平成 13 年 9 / 30)	3,243,749	200,257

(注) 1. 上記の数値は、当四半期における業務の速報であることから、一部正規の決算手続を経ていないものが含まれており、未監査であります。

2. 前期第 4 四半期の経常利益は新株発行費 ( 60,147 千円 ) を控除する前の金額で表示しております。

d) (株)コムスンの当期業績見込みについて

(株)コムスは、好調な第1四半期の状況と、お客様満足度最大化を基盤においた顧客増・売上増・拠点運営方法等の収益体質をより強化することができたことに伴い、従来の当期業績見込みを次のとおり修正いたします。

(単位：千円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 ( A )	14,000,000	800,000	600,000
今 回 修 正 ( B )	14,000,000	1,000,000	800,000
増 減 額 ( B - A )	0	200,000	200,000
増 減 率	0.00%	25.00%	33.33%

以 上